

ニュースを發行し、小作米の減免の必要性を大衆に宣傳せん動すること、そして組織未組織が一箇に小作人集會を持ち、小作米減免の運動を充分組織し、その地方の情勢に應じて要求額を決定せねばならぬ。そして此の集會では必ず闘争委員會を組織せねばならぬ、しかもその委員は大衆的に選出する事が必要だ、地主主別の闘争を行ふとは同一地主の小作人を闘争に起ち上らせるため必要である。

吾々は小作米の減免（一割でも三割でも）を全免の目標に進めると共に他の直米検査反對、用水施設備費の地主負擔等の闘争さらに税金借金獨立債務の闘争にまで發展させねばならぬ。又吾々はこの闘争を分散的なものに終らさず、地区的さらに全国的にまとめあげねばならぬ。

（普通主義闘争反對の件）

（早良地區提議）

（奉天北大營軍隊の大進を知つた日本帝國主義の滿蒙侵略戦争は

すでに數億圓の戦費を消し、數千名の兵士（これは主に吾々農民の子弟だ）を他九のエジナとしたのだ。にも拘らず戦争は更に終止する處か幾々擴大されつゝある、日本帝國主義は滿洲を侵略し滿洲國と云ふインテリゲンチヤ獨立國を作りあげ、武装移民を送り軍事工場、銀行等を造る等戦争の準備に狂奔してゐるのだ、この日本帝國主義の戦争の目標はソヴェートロシアである、それは日本を始め世界中の資本主義の國が失業と飢餓と壓制に苦んでゐるに反し、同盟は社會主義五ヶ年計劃の成功の進行によつて失業者は只の一人もなく農民はヤカイを使用し一日七時間労働をやつてかりその賃金は労働労働者で百五十圓最低で七十圓である、その外に電燈、ガス等は無料で貰はれるのだ、この労働者農民の國ソヴェートロシアの新しい發展は資本主義の労働者農民を自己の解放のための闘争に立ち上らせてゐるのだ。